

安全データシート

作成: 2023年 3月31日

1. 製品及び会社情報

整理番号	: KI106-01
製品名	: グレーシアフロアブル
会社名	: クミアイ化学工業株式会社
住所	: 東京都台東区池之端 1-4-26
担当部門	: サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号	: 03-3822-5180
FAX番号	: 03-3823-6830
緊急連絡先	: 同上
推奨用途及び使用上の制限	: 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分3

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示: 該当なし

注意喚起語: 該当なし

危険有害性情報

- ・水生生物に有害
- ・長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

- ・環境への放出を避けること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：

4-[(5*RS*)-5-(3,5-ジクロロフェニル)-4,5-ジヒドロ-5-(トリフルオロメチル)-1,2-オキサゾール-3-イル]-*N*-[(*EZ*)-(メキシイミノ)メチル]-*o*-トルアミド／一般名：フルキサメタミド

成分及び含有量：フルキサメタミド 10%

化学式：C₂₀H₁₆Cl₂F₃N₃O₃／フルキサメタミド

官報公示整理番号：安衛法

8-(7)-1823 フルキサメタミド

CAS No.: 928783-29-3 / フルキサメタミド

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合：皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

眼に入った場合：予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項：対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤：情報なし

火災時の危険有害性分解生成物：有毒な煙を放出する可能性がある。

消火時の保護具：適切な保護具を着用して作業する。

自給式呼吸器。

完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

応急処置: 漏出エリアを換気する。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。裸火、火花禁止、禁煙。

保護具: 適切な保護具を着用して作業する。

詳細については、第 8 項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。

環境に対する注意事項: 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法: 漏出物を回収すること。

浄化方法: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 情報なし

安全取扱注意事項: 使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。

取り扱う製品数は必要最小限にし、ばく露使用者の人数を最小限に抑える。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

作業所の十分な換気を確保する。

容器を接地すること／アースをとること。

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

引火性蒸気が容器内に蓄積することがある。

防爆型装置を使用する。

個人用保護具を着用する。

ラベルを良く読む。

ラベルの記載内容以外に使用しない。

農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切る。

使用済み容器などの洗浄液は、環境に影響のないよう配慮し適切に処理する。

有効期限内に使用する。

使用済み容器は他の用途には絶対に使用しない。

接触回避: 情報なし

衛生対策:この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件:施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置くこと。

食品や飲料と区別して保管する。

小児の手の届くところに置かない。

安全な容器包装材料:情報なし

技術的対策:容器を接地すること／アースをとること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具:換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具:保護用手袋

眼及び／又は顔面の保護具:安全メガネ

皮膚及び身体の保護具:適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視:環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 類白色液体
臭い	: 情報なし
pH	: 7.3
融点／範囲	: 情報なし
凝固点	: 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 情報なし
引火点	: 引火せず
自然発火点	: 情報なし
可燃性	: 情報なし
爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲	: 情報なし
相対ガス密度	: 情報なし

蒸気圧	: 情報なし
密度及び／又は相対密度	: 1.04 g/cm ³ (20°C)
溶解度	: 情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	: 情報なし
分解温度	: 情報なし
動粘性率	: 粘度: 363 mPa・s (20°C)
粒子特性	: 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 情報なし
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分に該当しない LD ₅₀ (ラット, ♀) > 2,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない LD ₅₀ (ラット) > 2,000 mg/kg
急性毒性(吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 分類できない(蒸気) 区分に該当しない(粉じん、ミスト)
急性毒性(吸入: 気体)	: GHS 定義における液体である。
急性毒性(吸入: 蒸気)	: 製品: データなし
急性毒性(吸入: ミスト)	: LC ₅₀ (ラット) > 5.82 mg/l
皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない ウサギ: 軽度刺激性
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分に該当しない ウサギ: 極く軽度刺激性
呼吸器感作性	: 分類できない 製品: データなし

皮膚感作性	: 区分に該当しない モルモット 皮膚感作性なし
生殖細胞変異原性	: 分類できない 製品: データなし
発がん性	: 分類できない 製品: データなし
生殖毒性	: 分類できない 製品: データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない 製品: データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない 製品: データなし
誤えん有害性	: 分類できない 製品: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
生態系 - 全般	: 長期継続的影響によって水生生物に有害。
水生環境有害性 短期(急性)	: 水生生物に有害 LC ₅₀ (コイ) > 1,000 mg/l (96時間) EC ₅₀ (オオミジンコ) 84 mg/l (48時間) EC ₅₀ (藻類) 342 mg/l (72時間)
水生環境有害性 長期(慢性)	: 長期継続的影響によって水生生物に有害 慢性毒性データおよび急速分解性が不明であることから急性毒性データで判定、区分3に該当。
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない モントリオール議定書の附属書に列記されていない。
その他の有害影響	: 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調製し、使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除

去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類 : 非該当

国連番号 : 非該当

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第24743号 (日産化学株)

消防法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)

: 非該当

毒物劇物取締法 : 非該当

土壌汚染対策法 : 特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条)

ふっ素及びその化合物

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意してください。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針

2019年6月 社団法人 日本化学工業協会

3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会

4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

5) 日産化学(株) グレースシアフロアブル 安全データシート
(作成日:2023年2月14日)

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間) 一般市民向け相談電話(無料) 072-727-2499

医療機関専用有料電話 072-726-9923

つくば(毎日9時~21時) 一般市民向け相談電話(無料) 029-852-9999

医療機関専用有料電話 029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。